



発行所 国鉄労働組合
盛岡地方本部
発行 齋藤 庄司
編集 沢田 光広
TEL 019-622-5021
メールアドレス
numori@poem.ocn.ne.jp

2013.6.10
第1458号

拡大キャッチコピー

「新しい仲間づくりを
皆の力で」
「一緒に解消しませんか、
あなたの疑問。
加入ってます」

無料法律相談

担当 菅原 瞳 弁護士
(盛岡市)

<問い合わせは地方本部へ>

当面の主な日程

- ▽6月15日(大宮) 東日本本部事務職交流会
- ▽6月18日(盛岡) 地方本部執行委員会
- ▽6月19日 全国・東日本本部代議員選

挙投票日

- ▽6月20日(東京) 全国交通共済生協総代会
- ▽6月21・22日(盛岡) 東日本電気協議会交流会
- ▽6月22日(盛岡) 平環セ「佐高信文化塾」
- ▽6月23日(盛岡)

地本組織・教宣部長合同会議

- ▽6月29日(大宮) 東日本本部各地本・地区本部組織部長会議
- ▽7月4日 第23回参議院議員選挙公示

ていこう

三陸鉄道の震災学習列車が快走している。昨年度は県内外の小中高生ら27団体1472人が同列車に乗った。2年目である13年度の予約は、5月上旬で30団体約2000人になっているという。車窓の光景と「語り部」の説明から東日本震災の被害や教訓を学び、防災意識を高めることが目的だが、ガイドが「来てくれただけで立派な被災地支援」と生徒たちに声をかけると、「震災は人ごとではない」「命は自分で守るんだ」という言葉が印象に残ったと応じる。彼等には自然と共生し、命を守る社会を築くために頑張してほしい。それにしても復興の歩みは遅い。「国は現場がやろうとすることに口を出しすぎる。高台移転の手続きや農地転用など、多岐がルールに縛られ、復興交付金もやりたい事業に使えず、予算が練り過ぎている。高齢者に配慮し災害公営住宅に商業施設を入れようとしても国はできないという。被災地と気持ちを共有できない証拠だ」と陸前高田市戸羽市長は指摘する。そして「緊急事態宣言で市町村に権限を下るせばもっと復興は進んだはず」と国民不在政治を振り返る。いま、国のあり方、憲法が議論されている。大震災で世界中から支援を受けた日本は、障害者や高齢者、子どもに優しいまちを早期に復興させることで世界から注目される国になることが重要だ。憲法理念を活かし、軍隊も核も持たない安全で安心な国として、世界中の人々と手を携えて、平和に貢献することが復興支援への恩返しでもある。参議院選挙結果が国際社会における平和的リーダーとしての日本に繋がればと願う(力)

組織拡大に欠かせない職場活動

＝全体で90人・盛岡からは7人が参加し交流＝

第7回組織拡大・労働条件改善東7ブロック経験交流集会



「盛岡からの報告は小原典昭さん(右)と木村新吾さん(左)」

当日は、前段に岡田尚弁護士による「労働条件の不利益変更とは」と題した中央労働講座が開催され、判例をきめ細かく説明しながらの講座で大変わかりやすく、「不利益変更」の問題点について理解を深めることができました。「東7ブロック拡大経験交流集会」は、主催者を代表して眞子書記長が「各地方へオル

自分達の足元を見つめ直して

盛岡駅連合分会 館洞 孝一

本部は第81回定期大会での決定を受けて「闘争指令第1号」を発し、「組織拡大・全国統一闘争」を展開してきた。この闘いの中、地方本部においても1月には木村新吾さんが3月には河原木孝志さんが国労へ加入している。こうした中で「第7回組織拡大・拡大東7ブロック経験交流集会」が5月12日・13日、熱海市の「ホテルニューフジヤ」にて開催され、90人が出席した。地方本部からは、盛岡支部・菅原高明副委員長、盛岡駅連合分会・館洞孝一書記長、青森駅連合分会・小原典昭分会長と木村新吾さん、八戸運輸分会・田端文明分会長と朽木一執行委員、地方本部・菊池要悦組織部長が出席した。組織拡大にとって欠かせないのが職場活動の強化と組合員全体での取り組みである。全国の仲間との運動に学びながら、共に頑張る決意を固めた集会となった。

翌日は、分散会からの報告とエリア本部・地方本部からの決意表明が行われ、分散会報告では第2分散会座長の地方本部・菊池組織部長が「組織拡大に向け、分会運動の強化」、特別報告では青森駅連合分会の小原分会長と1月に国労へ加入された木村新吾さんが「スピードとタイムングが大事」と報告しました。全国の仲間との交流を通じて、職場活動のさらなる活性化、組合員全体での意思統一、目標達成に向けて自信を持ってやりきる事が大事だと感じました。

今回の交流会に参加して、新規採用者を含めた若手社員との組織拡大には、かなりの決意を持って臨まなくてはなりません。しかし、現在会社側は、所属組合による差別はないということを書いていますが、確かに100%信用できないという部分もあります。そこはしっかりと差別がないかを点検・摘発を行いながら他労組と違う運動展開を図り他労組組合員や新規採用者に国労加入を訴えることが必要です。

組織の現状をしっかりと認識し、組織拡大は待たない問題でありスピードをもった運動が求められていることと、全組合員が参加し、一丸となった組織拡大運動へと発展させる必要があることが再認識させられる交流集会でした。

全組合員が参加し拡大運動を

八戸運輸分会 田端 文明

今回の交流会に参加して、新規採用者を含めた若手社員との組織拡大には、かなりの決意を持って臨まなくてはなりません。しかし、現在会社側は、所属組合による差別はないということを書いていますが、確かに100%信用できないという部分もあります。そこはしっかりと差別がないかを点検・摘発を行いながら他労組と違う運動展開を図り他労組組合員や新規採用者に国労加入を訴えることが必要です。

組織の現状をしっかりと認識し、組織拡大は待たない問題でありスピードをもった運動が求められていることと、全組合員が参加し、一丸となった組織拡大運動へと発展させる必要があることが再認識させられる交流集会でした。

組織の現状をしっかりと認識し、組織拡大は待たない問題でありスピードをもった運動が求められていることと、全組合員が参加し、一丸となった組織拡大運動へと発展させる必要があることが再認識させられる交流集会でした。

組織の現状をしっかりと認識し、組織拡大は待たない問題でありスピードをもった運動が求められていることと、全組合員が参加し、一丸となった組織拡大運動へと発展させる必要があることが再認識させられる交流集会でした。

組織の現状をしっかりと認識し、組織拡大は待たない問題でありスピードをもった運動が求められていることと、全組合員が参加し、一丸となった組織拡大運動へと発展させる必要があることが再認識させられる交流集会でした。

組織の現状をしっかりと認識し、組織拡大は待たない問題でありスピードをもった運動が求められていることと、全組合員が参加し、一丸となった組織拡大運動へと発展させる必要があることが再認識させられる交流集会でした。



優勝を喜び深田さん(左)

第18回地本ゴルフ大会

深田剛人さんが優勝 (二戸地域分会) 晴天の中85人がプレー

第18回地方本部ゴルフ大会が6月5日安比高原ゴルフクラブで開催された。大会には組合員・来賓を含め85人が参加しダブルペリア方式で順位を決定するとともに交流を深めた。優勝は二戸地域分会の深田剛人さん。

当日は晴天に恵まれ、8時10分から開会式を簡単に、4コースに分かれ順次スタート。昼食後には後半のコースをラウンドし15時には全員がプレーを終了。引き続き表彰・閉会式に入り、齋藤委員長の挨拶後に順位の発表に移り用意された景品が順位毎に手渡された。大会には、岩手県労働福祉協議会、東北労働金庫、全労済岩手県本部、連合岩手、社民党岩手県連合、国労仙台自動車支部、ハピネス共済会、ばんから屋など多くの団体・個人の皆さんからの参加や景品の提供を受けた。第6位までの成績は次の通り。

第7回組織拡大東7ブロック経験交流集会



又市征治氏 (88)

又市征治氏の議席確保に取り組み強化を 参議院議員選挙 7月4日告示・同月21投票

第23回参議院議員選挙が7月4日(木)告示・7月21日(日)投票での施行が予定されている。地方本部も同選挙については、1月16日の第4回執行委員会が社会民主党公認の比例代表に立候補を予定している又市征治氏(現在2

期目・自治労出身)の推薦を決定している。平和と民主主義を守り、改憲反対・反原発・TPP参加反対・消費税増税ストップなどを掲げる又市氏の当選を目指し取り組みを進めていこう。(又市征治氏略歴)

1944年7月富山市生まれ。高校を卒業、富山県庁に就職。1974年30歳で自治労富山県本部書記長に就任。その後、副委員長、委員長を務め、連合富山会長代理などを歴任。2001年7月社民党比例代表候補として参議院議員選挙に立候補し当選。2007年7月に再選。党ではこの間、参議院国対委員長・同幹事長など、2003年12月から党幹事長。2007年12月から副党首。

- 優勝 深田 剛人 (二戸地域分会)
- 準優勝 藤田 勇人 (青森施設分会)
- 第3位 吉岡 秀人 (ばんから屋)
- 第4位 山本 寿 (盛岡運輸分会)
- 第5位 濱中 保彦 (全国交通生協)
- 第6位 館川 幸也 (盛岡貨物分会)

最新のがん治療に合わせて
進化したアフラックの新しい
「がん保険」です。

「生きる」を創る。
Affac
アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)
東京第三法人営業部

〒163-0458 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
Tel.03-3344-1459 Fax.03-3344-4035

TEL 03-3437-6810
FAX 03-3437-6822

〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

資料請求いただいたお客様の個人情報の利用目的は、アフラックの各種商品やサービスの案内・提供・維持管理となります。
詳しくは、「パンフレット(契約概要)」や「ご契約のしおり・約款」をご覧ください。

さようなら原発 県民集会
山本太郎 講演会

子ども・国の未来にむけさようなら原発

俳優・山本太郎さんむかえ講演会

全国各地の反原発集会に参
加し脱原発を訴える山本太郎
さんが5月25日、盛岡市サン
ビル大ホールにて「さよなら
原発」と題し講演会(主催・
さようなら原発1000万人
アクション岩手県実行委員
会)を行った。

会場は山本さんに一目会い
公演を聴こうと各地から集
まった参加者(約350人)
で満席となった。テレビや映
画で活躍していた山本さんは
「原発事故後、声を上げるべ
きか3週間悩んだ。スポンサ
ーに逆らえば仕事がなくなる。
安全性が確保されていない中
で毎日のように地震がある。
しがない芸能人が騒いでも何
も変わらないかもしれないが、
立ち上がらなければ何も変わ
らない」と芸能活動を休止し

日常と違う体験はストレス解消

青森市で11人参加し「家族会交流」

5月19日(日)青森市で、「家族会交流会」が、家族会の交流を深めると同時に「ねぶた」の歴史を学ぶことを目的に開催されました。青森支部からは4人(北上、田崎、佐々木、相内、盛岡支部からは7人(佐々木、兼平、中堤、千葉、小松、松尾、工藤)の参加でした。

最初に国労青森支部会館にて、地方本部副委員長の阿部一久さんから情勢報告を受けました。

北海道新聞のコピーを資料

「ワ・ラッセ」に行き、ガイ

に、国労闘争団員だった10人の方がJLR不採用問題で得た和解金の中から1000万円ずつ出資し、次世代の雇用を創出したいと老人ホームの運営会社を設立したこと、同じく闘争団だった方が菓子製造工房を開業し、手作りで「梅ようかん」を作り道産品アンテナショップで売り上げ5位になったことなど、元闘争団員の奮闘ぶりを知ることができました。

午後からは、ねぶたの家「ワ・ラッセ」に行き、ガイ

怒るのですか」と切り捨てた。TPPに關しても「原発とTPPは深い関係がある。規制を緩和し自由に貿易が行われて、儲かるのは一部の支配層と資本家のみ。その人達は原発を推進する」とTPPにより原発が止められなくなる」と関連を示した。

約1時間半にわたり、原発の恐ろしさ・私たちが置かれている状況・そしてこの国の未来に対して山本さんは訴え続けた。

自民党を始め原発を容認しTPP参加を唱える政党が多い中、私達はさきんと見極め判断しなければならぬ。山本さんも衆議院選挙に出馬した経験から「選挙は大事。当落も当然だが国民に訴える場がある」と今度の参議院選挙の重要性も話された。自身自身の身を守るため、子供たちの未来のため、私たちが真剣に「さよなら原発」に取り組んでいかなければならない。盛岡地区協 及川 孝

「佐高信塾」に参加を
平和環境岩手県センター主催

労働者の学習・交流の場として「2013佐高信文化塾」(平和環境岩手県センター主催)が今年も開催されている。4月20日には第1回講座「東日本震災の人権と憲法」と題して幸淑玉氏(シンズゴ氏・人材育成コンサルタント)が講演し「外国人差別を煽る言葉の暴力が日本国内のデモ行進で連呼されていることに不安を感じる。東日本震災の被災地は、働くこと・生きることの日常が奪われ、人権が奪われ憲法番外地となっている。弱者側が強者側にすぎるのでなく、闘うこと自分を助ける意味からも憲法をまなび活用する事が大切」と、参加者にも問いかけ発言させる講演内容に戸惑いながらも「もの

の見方考え方」を学んだ有意義な講演であった。

第2回講座は6月22日「頼みあや氏と佐高信氏の対談」(盛岡市・岩手教育会館大ホール14時~16時)が予定され、9月には最終3回目の講座(内容未定)が予定されている。問い合わせは地方本部へ。1回1000円、補助額500円。※頼みあや氏・映画監督、上関原子力発電所に反対続ける島民の姿を撮った映画「祝の島」でシチリア環境映画祭最優秀賞受賞。

5月28日・青森
婦人部交流会開催

5月28日青森市において婦人部交流会を開催しました。普段離れていて中々会うことのできない婦人部ですが、健康診断のため盛岡健診センターの2人が青森を訪問する際、5人で集まる計画を立て今回実現しました。

青森では現在のインホームションからお問い合わせセンターへの移動の話もあったが別の人が先に移動してしまつた。エルダー(来年)の職場として考えているが、また考えなくてはならなくなつた。1人悩まず色々な人と話す中から次の仕事を見つけようとお話しました。今回、青森鉄道に出向している組合員とも話す機会があり、職場の状況を聞くことも出来ました。

3時間という短い時間でしたが、久々に全員が顔を合わせて話すことができ、とても楽しく有意義な交流会となりました。秋にまた5人集まることを確認して終了しました。

婦人部長 小野寺京子

おかげさまで10周年
10th Anniversary

どんなときも、そばに。それが、ろうきん。

期間 6/1(土)~7/31(水)

東北ろうきん 創立10周年記念 サマーキャンペーン2013

期間中に①または②の対象取引でお預入れ・ご契約いただいたお客様へ
ハンカチーフ または リビング用掃除用具
を プレゼント!

さらに、
抽選で 合計2,000名様へ 5,000円相当のカタログギフトを進呈

※抽選は期間中の定期預金増加残高5万円につき1口の抽選権とし、お一人様20口(100万円)を上限とします。
※カードローン(マイプラン)は、抽選プレゼントの対象ではありませんので、ご了承下さい。
※抽選プレゼントは、総合課税(一時所得)の対象となります。詳しくは、お近くのろうきん窓口にお問合せ下さい。

対象取引
①定期預金
5万円以上の新規預入または増額書替
②カードローン(マイプラン)
新規契約

〒980-8661
宮城県仙台市青葉区北目町1-15 Ace21ビル
☎022-227-1384
http://www.tohoku-rokin.or.jp

東北労働金庫 営業推進部